

研修セット（3）

児童虐待の早期発見と適切な対応の ためのチェックリストの活用①

（幼児・児童・生徒の変化をとらえるために）

（所要時間 10分）

1 研修のポイント

- ・ 「児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト」を実際に活用して事例を検討することにより、児童虐待の早期発見のためのポイントについて共通理解を図ることができます。

2 使用する資料

- ・ 児童虐待に関わる事例（各学校で用意する）
- ・ 児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト（人権教育プログラム）

3 参考となる資料

- ・ 「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」（文部科学省）
- ・ 「児童虐待防止と学校」（文部科学省）モジュール6 P45～50

4 研修の流れ

分	内 容
1	・ 事例について理解する。
3	・ 「児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト」の該当する項目について、チェックする。
7	・ グループで話し合う。 （どの項目にチェックしたか、人（担任・養護教諭等）によってチェック項目に違いがあったか、等）
10	・ 感想を交流し、活動を振り返る。※

※ 振り返りのポイント

- 1 学校がやるべきことは、大きく分けて次の6点である。
 - ① 虐待を疑う。「3つの変化に気付く」（子供の変化、保護者の変化、状況の変化）
 - ② 情報を収集・分析する。（登校時、授業中、健康診断、保護者との関わり等）
 - ③ 具体的に記録をする。（事実関係を時系列順に本人の発言内容を含め）
 - ④ 対応について校内で協議する。
 - ⑤ 児童相談所等へ通告する。（教育委員会にも報告）
 - ⑥ 関係機関と連携を継続する。
- 2 特に、1の⑤と⑥については、次のことに留意する。
 - ⑤ 児童相談所へ口頭ではっきりと「通告」し、書面も送付する。
 - ⑥ 学校の対応等について、日時、内容等を記録し、情報等を共有する。

お願い：本研修終了後、アンケートをFAXで送信してください。

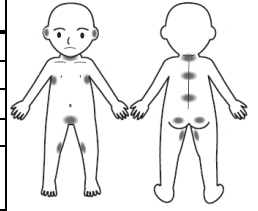
児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト

年 組 氏名 担任氏名

1 幼児・児童・生徒の様子で、虐待と思われる「変化」をとらえる

(1) 登校（園）時の出席調べや健康観察などの場面で

チェック	幼児・児童・生徒の様子	月日	気付いた人
	傷跡やあざ、やけどの跡などが見られる。	/	
	過度に緊張し、教師と視線が合わせられない。	/	
	季節にそぐわない服装をしている。	/	
	きょうだいで服装や持ち物などに差が見られる。	/	
	連絡もなく欠席する。担任等が家庭を訪問しても、保護者は不在であったり、子供はまだ寝ていたり、あるいは食事を与えられていなかったりする。	/	



〈虐待によるけがが多い部位〉

(2) 授業中や給食時などの生活場面で

チェック	幼児・児童・生徒の様子	月日	気付いた人	備考
	教師等の顔をうかがったり、接触を避けようとしたりする。	/		
	最近、急に気力がなくなる、字が乱雑になるなどの様子が見られる。	/		
	他者とうまく関わらず、ささいなことでもすぐカッとなるなど乱暴な言動が見られる。	/		
	握手など身体的接触に対して過度に反応する。	/		
	警戒心が強く、音や振動に過剰に反応し、手を挙げただけで顔や頭をかばう。	/		
	他の人を執拗に責める。	/		
	動植物等の命あるものをいじめたり、生命を奪ったりする。	/		
	虚言が多かったり、自暴自棄な言動があったりする。	/		
	用事がなくても教師のそばに近づいてこようとする。	/		
	集団から離れていることが多い。	/		
	食べ物への執着が強く、過度に食べる。	/		
	極端な食欲不振が見られる。	/		
	なにかと理由をつけてなかなか家に帰らたがらない。	/		
	必要以上に丁寧な言葉遣いやあいさつをする。	/		
	必要以上に人に気に入られるように振舞ったり、笑わせたりしようとする。	/		
	日常の会話や日記・作文等の中に、放課後や休日の生活の様子が出てこない。	/		

(3) 健康診断、水泳、着替えの手伝いなどの場面で

チェック	幼児・児童・生徒の様子	月日	気付いた人	備考
	衣服を脱ぐことに過剰な不安を見せる。	/		
	発育や発達の遅れ（やせ、低身長、歩行や言葉の遅れ等）、虫歯等要治療の疾病等を放置している。	/		
	説明がつかないけが、やけど、出血斑（痕跡を含む）が見られる。	/		
	からだや衣服の不潔感、汚れ、におい、垢の付着、爪が伸びている等がある。	/		

(4) 保護者との関わりの中で

チェック	保護者等	月日	気付いた人	備考
	子供との関わり方に不自然なところが見られる。	/		
	不自然に子供が保護者と密着している。	/		
	発達にそぐわない厳しいしつけや行動制限をしている。	/		
	家庭訪問や面談等の際、保護者が同席していると、必要以上に気を遣い緊張しているが、保護者が席を離れると、安心して表情が明るくなる。	/		
	子供が夜遅くまで外で遊んでいたり徘徊したりしているのを黙認している。	/		
	長期にわたって欠席が続き、訪問しても子供に会わせようとしない。	/		
	家庭訪問や担任との面談を拒否する。	/		
	連絡帳への返事がなく、学校からの電話には出ない。	/		
	子供の健康状態に関心が低く、受診や入院の勧めを拒否する。	/		
	子供の外傷などに対する説明に不自然なところがある。	/		
	欠席の理由や状況の説明に不自然なところがある。	/		
	子供の発育等に無関心であったり、育児について拒否的な発言があったりする。	/		
	子供のしつけに関する言動が常に変わる。	/		
	子供の成績や評価、学習用具等の準備に無関心である。	/		
	教材費や給食費を滞納する。	/		
	保護者会やPTA行事等への出席を拒否する。	/		
	保護者会等で自分自身や他の保護者に対して否定的な態度をとることがある。	/		
	他の保護者と関わることを極端に嫌う。	/		